

～全国の感染状況の変化を受けて～

新型コロナウイルス感染症対策 鹿島市対応方針

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が終了した後の段階的緩和として、令和2年6月19日、全国で都道府県境をまたぐ外出自粛要請は解除されましたが、佐賀県では、一部地域（首都圏・北海道・北九州市）との往来については、慎重な対応をとる指針が示されていました。

その後、感染状況の変化を受けて6月26日から北海道及び北九州市との往来自粛要請は解除することが発表されました。

これらの状況を踏まえ、鹿島市における新型コロナウイルス感染症対策の対応方針を改訂しました。市民の皆様は、これまでの【感染防止対策】を基本とし、夏に向けての体調管理もお願いします。

なお、この方針に基づく対応に当たっては、次のことに留意してください。

- これまで取り組んできた感染防止意識に緩みが出ないように慎重に行動する。
- 市内在住者に感染が確認される等、状況に大きく変化があった場合、この方針は変更する。

【感染防止対策】

イベント実施、施設利用等に当たっては、次の感染防止対策を施す。

- ①発熱や風邪のような症状のある方については、参加・利用を見合わせる
- ②参加者への手洗い、咳エチケット（マスク着用）の徹底
- ③会場入口にアルコール消毒液の設置 等

●鹿島市の対応方針

【夏に向けての3密対策】

○暑いときは無理せず我慢せず、エアコンを利用する。

ただし、こまめな換気を行う（30分ごとに2～3分程度）。

※ エアコンによっては換気機能が備わったものもある（家庭用はほとんど×）

※ 窓や換気扇などを利用し、空気の流れを作り換気すること。

○熱中症予防のポイント

- ・暑さを避ける（エアコンの利用）
- ・適宜マスクを外す（人との距離は2 m以上とった上で）
- ・こまめな水分補給（のどが渇く前に）
- ・日頃の健康管理（体温測定、健康チェック）
- ・暑さに備えた体づくり（暑くなり始めの時期から適度な運動を）

【市主催のイベント・催しについて】

○県内対象のイベントについて

- ・【感染防止対策】を施すこと
- ・3密の回避を徹底すること（換気対策、人と人との間隔を空ける等）
- ・参加者の連絡先を把握すること
- ・屋内であれば、隔席利用などにより収容定員の半分以下の参加人数にすること
- ・屋外であれば、人と人との距離を十分に確保できること
- ・イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があることを踏まえ、こうした交流を極力控えることを呼びかけること。
- ・密閉された空間において大声での発生、歌唱や声援、近接した距離での会話等が想定されるようなイベントに関しては、参加人数や収容率の目安に関わらず、開催にあたってより慎重に検討すること

○不特定多数が参加するイベントについて

- ・【感染防止対策】を施すこと
- ・3密の回避を徹底すること（換気対策、人と人との間隔を空ける等）
- ・全国的かつ大規模な催事等（一定規模以上のもの）の開催については、リスクの対応が整わない場合は中止または延期するなど慎重な対応を行うこと
- ・屋内・屋外ともに参加者は1,000人以下とすること
- ・屋内であれば、収容定員の半分以下の人数にすること
- ・屋外であれば人と人との距離を十分に確保できること（できるだけ2 m）
- ・イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があることを踏まえ、こうした交流を極力控えることを呼びかけること。
- ・密閉された空間において大声での発生、歌唱や声援、近接した距離での会話等が想定されるようなイベントに関しては、参加人数や収容率の目安に関わらず、開催にあたってより慎重に検討すること

【民間や実行委員会形式でのイベント・催しについて】

原則主催者判断となるため、一律に中止要請は行わない。実施の可否について、主催者から相談があった場合は、【市主催のイベント・催しについて】を説明し、主催者側で判断していただく。

【市有施設の利用について】

施設の管理者及び利用者には、【市主催のイベント・催しについて】に準じた利用方法となるよう協力を要請する。施設の形態に応じ、下記のとおり対応する。

利用に予約を要する施設	県外の方の利用も可能とする。 ※ <u>首都圏の方</u> の利用は極力ご遠慮いただく。
利用に予約不要の施設	予約を要する施設と同様の対応が可能であれば上記のとおり 難しければ公園・遊具等に準じた対応
公園・遊具等	注意喚起表示 ・混雑を避ける ・使用前後の手洗い励行 等

【外出について】

首都圏との往来は、やむを得ない場合を除き、できるだけ自粛をお願いする。

【新しい生活様式】

感染拡大防止と社会経済活動維持の両立を図っていくために、積極的に「新しい生活様式」を実践していく。

基本的生活様式

- ・ 手洗い・咳エチケット・こまめな換気と健康管理、3密を避ける

